

おoka社会保険 やま社会保険

センター津山の存続を

津山再生クラブ 武本 淑男



質問①「おokayama社会保険センター津山」は多くの受講生の利用があり、津山市にとって都市の魅力を増している施設で宝物である。何らかの方法で引き受けて、継続して利用できるようにすべきではないか。

②教育施設の安全対策（インターホン・センサー・防具等の設置）を本年度はどう対応するか。③小・中学校の「二学期制移行問題」をどう考えているか。

行問題」をどう考えているか。

①今のところ、社会保険センターから津山市に対して買い取り要請はきていない。今後の研究課題と思っている。②教育委員会としては緊急時に効力を発揮する刺股配置を今年度中に実現したい。③現在「二学期制への移行」は考えていない。

市民の納得できる説明を

津山再生クラブ 権田 直良



質問①アルネへの県支援金二十億円を津山市が立替払いをしている問題、「知事との固い約束」「私を信じて下さい」（中尾市長）もう七年を経過している。県が一切対応しないのはなぜか。約束した確約書の提出もないままだ。説明責任を果たせ。津山加茂線（荒坂峠）主要県道の整備について現状認識と対策を示せ。安全安心の対策について避難施設は安全か。情報伝達

は万全か。台風二十三号の二次災害対策はどうなっているか。

答弁①二十億円は県側と不転の決意で協議を行っており、今年度内には整理したい。津山加茂線と横野滝線の交差点付近の改良は「みちづくりパートナーシップ事業」で近く整備に向けて着手する。そこから未改良区間の整備につながるものと考えている。以下略。

質問①合併により自由に学校を選択できる「通学区の弾力化制度」を導入する考えはないか。区域によっては、通学距離が近くなるなど好条件になると考える。

答弁①各校区の特色や事情を考慮し、弾力化を行う方向で進め、県教育庁などの調整、規則の改正、市民への周知が必要となり、二、三年

アルネ再建第三次案の実行は凍結を すべきである。市民に信を問え！

日本共産党津山市議団 末永 弘之



質問①八十四億ともいわれる「アルネ再建第三次案」は、都市整備公社に二十二億円の債務負担をしたり、津山市からの貸付金を「株式化」する予定であったのを変更しているなど当初をかえっている、市長リコール署名も起こされている、市長リコール署名も起こされている、市長を辞任して市民に信を問うべきだ。

市長①すでに議決をされている予算であり、中心市街地だけでなく、津山の都市資産であり、アルネを再生させるのが私の任務である。

答弁①合併協議で、各自自治体の違いがあり「平成十七年度以降で調整する」ということになっている。

質問①合併により「加茂町などの旧同和の特別対策を継続することになっているが、津山市では「凍結」をした施策である、ただちに廃止すべきだ。

小中学校の通学区弾力化

新風会 松本 義隆



質問①合併により自由に学校を選択できる「通学区の弾力化制度」を導入する考えはないか。区域によっては、通学距離が近くなるなど好条件になると考える。

答弁①各校区の特色や事情を考慮し、弾力化を行う方向で進め、県教育庁などの調整、規則の改正、市民への周知が必要となり、二、三年

質問①新市建設の計画を第四次総合計画にどのよう反映させるのか。

答弁①各地域の特性を活かし、融和と連携を図り実効性のある施策を取り込み、合併特例債、過疎債、国の補助金など有効な財源を活用し、取り組んでまいります。